

報告第 10 号

株式会社グリーンウインズさとやまの経営状況について

株式会社グリーンウインズさとやまが、第 32 期（自令和 6 年 4 月 1 日～至令和 7 年 3 月 31 日）の決算及び第 33 期（自令和 7 年 4 月 1 日～至令和 8 年 3 月 31 日）の事業計画を定めたので、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、次のとおり報告する。

令和 7 年 9 月 2 日

庄原市長 八 谷 恭 介

第 32 期（自令和 6 年 4 月 1 日～至令和 7 年 3 月 31 日）

決算関係書類（別紙）

第 33 期（自令和 7 年 4 月 1 日～至令和 8 年 3 月 31 日）

事業計画関係書類（別紙）

経営状況等概要シート

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和7年7月10日
作成担当部署 広島県庄原市 企画振興部 商工観光課

2 第三セクター名等

第三セクター名 株式会社グリーンウインズさとやま
第三セクター所在地 〒727-0011 庄原市東本町1丁目8-17
設立年月日 平成6年3月10日

3 資本金(出資金総額) 100,000千円

4 市の出資額及び出資割合 60,000千円 (庄原市の出資割合 60.0 %)

5 事業内容

・国営備北丘陵公園の管理受託等

6 財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	総資産	272,833	256,574	238,342
	(うち流動資産)	(210,691)	(189,893)	(171,290)
	(うち固定資産)	(62,142)	(66,680)	(67,052)
	総負債	66,649	54,225	40,365
	(うち流動負債)	(61,416)	(46,357)	(35,381)
	(うち固定負債)	(5,233)	(7,868)	(4,984)
	総純資産	206,185	202,348	197,977
	(うち利益剰余金)	(106,185)	(102,348)	(97,977)

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	531,414	544,892	550,429
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	(29,323)	(16,627)	(17,277)
	経常損益	▲ 3,588	▲ 2,091	▲ 10,403
	当期損益	▲ 2,667	▲ 3,837	▲ 4,372
	減価償却前当期損益	2,627	2,601	2,715

7 役員構成 ※令和7年3月31日時点

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
代表取締役会長	木山 耕三	取締役	西中 晃	取締役	児島 直子
代表取締役社長	奥井 智裕	取締役	本平 正宏	監査役	青木 照和
取締役	矢吹 有司	取締役	八谷 恭介		
取締役	大原 直樹	取締役	小林 明宗		
取締役	藤原 信孝	常務取締役	上野 和馬		

8 役職員の状況 ※令和7年3月31日時点

役員数	人件費(千円)	正職員数	人件費(千円)	その他に係る人件費(千円)
12	21,345	57	191,291	19,905

※直近の決算の数値

9 第三セクターへの関与の状況

(1) 公的支援等(フロー)

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
① 補助金(助成金)	13,417	28,350	350	(県)特定求職者雇用開発助成金350千円
② 利子補給金				
③ 税の減免額				
④ その他				
小計	13,417	28,350	350	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計	0	0	0	
合計	13,417	28,350	350	
(参考)委託料	17,906	15,777	16,927	庄原市庄原交流拠点施設(食彩館しょうばら ゆめさくら)指

(2) 公的支援等(ストック)

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
① 損失補償契約に係る債務残高				
(将来負担額)				
(将来負担算入率)				
② 貸付金残高				
③ 出資金				
合計	0	0	0	

10 その他の特記事項

営 業 報 告 書

(第 3 2 期)

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

株式会社グリーンウインズさとやま

1. はじめに

当社は、令和6年2月から4年間にわたる国営備北丘陵公園の運営維持管理業務を(株)広島緑地建設との2社共同体制により開始いたしました。

新規契約の実質的な1年目として、公園の価値をより高めるように花やイベントの魅力向上や情報発信の強化に努めましたが、令和6年度における公園入園者数は40万4千人で、前年度の45万人から4万6千人減少いたしました。

これは、初夏から秋にかけての猛暑と冬季の寒波など異常気象の影響に加えて、類似施設と比べて公園の魅力が低下していることが要因であると考えます。

入園者が大きく減少している中で、園内飲食、物販、その他の収益事業は、物価高騰部分の価格転嫁や営業費用の縮減などにより昨年度より収支を改善しておりますが、全社共通人件費や管理経費を賄うまでには至らず、全体としては3期連続となる赤字決算となりました。

なお、備北丘陵公園を対象としたコンセプション事業導入可能性の検討に向けたサウンディング調査では、国から示された基本スキーム案について、コンサル企業を加えて内容の分析、対応方策の検討を進めるとともに、スキーム案に対する改善要望などを行いました。

2. 主な事業内容

- ① 公園管理部門は、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務のほか、利用者サービス及び収益施設の管理運営業務を担って、包括的な質の確保と企画書に記載した内容を100%実施すべく業務を遂行しました。

入園者数は、4月、5月はチューリップやネモフィラの開花が良好だったことで前年を上回ったものの、6月以後は猛暑の影響による外出自粛や秋のコスモスの生育不良などにより、また、12月以後は週末ごとの天候不良や寒波の影響により入園者数が減少し、包括的質で設定された入園者数45万6千人を大幅に下回る40万4千人となりました。

公園運営維持管理業務の売上は、人件費単価の増額などにより258,071千円、前年比103.4%（8,554千円増）となりました。

地域連携では、県立広島大学庄原キャンパスサテライトラボの北エリア「ふらり」への開設、備北交通による高速広島線の園内乗り入れ実証運行など、公園を舞台にした新たな取り組みが実現いたしました。

- ② 営業部門は、営業対象入園者数が前年比89.0%（39,419人減）まで落込みましたが、飲食売上はメニュー価格の改定などにより、55,115千円、前年比105.2%（2,714千円増）となりました。一方で、物販売上は入園者減少の影響を補いきれず、39,128千円、前年比94.7%（2,678千円減）となりました。

来園者が集中する期間、場所に開設する臨時売店の売上については、一番の稼ぎ時であるイルミネーション期間中の営業対象入園者が136,065人、前年比90.4%（14,412人減）となったこと、及びひばの里における販売を業務売上に変更したことにより、50,953千円、前年比83.2%（10,268千円減）となりました。

イルミネーション期間中に開催いたしました自主事業『ミラーボーラー 魔法の宮殿』には 35,134 人の入場者（目標 49,110 人）があり、売上は 20,320 千円となっております。

収益施設部門は、駐車場が、12,795 千円、前年比 162.4%（4,916 千円増）、備北オートビレッジが、16,612 千円、前年比 134.3%（4,242 千円増）、レンタサイクルが、3,116 千円、前年比 132.4%（763 千円増）となりました。これらは主に事業運営体制を 3 社から 2 社に変更したことによるものです。

営業開始から 3 年目となるグランピング施設「湖畔ステイズ庄原」は、積極的な利用促進キャンペーン効果などにより、令和 6 年度の稼働率が 50.3%と前年度から 7.8 ポイント向上し、軽食きゅうくんと合わせて 19,657 千円、前年比 164.8%（7,727 千円増）となりました。

- ③ 指定管理業務は、庄原市庄原交流拠点施設「食彩館ゆめさくら」の指定管理者として、5 か年にわたる指定管理契約の 4 年目として施設の運営管理を行いました。

「そば処とんぼ」の休業、撤退を受けて、新たに市内企業との共同による飲食施設として令和 6 年 12 月に「さくら食堂」を開業いたしております。

指定管理業務の売上は、16,927 千円、前年比 107.3%（1,149 千円増）となりました。

- ④ 総務部門は、人的効率化のために 1 年単位の変形労働時間制を継続し人件費の抑制に努めました。

業務の効率化といたしまして、各営業施設に P C 機器を導入してデータの入力を行いクラウド上で管理部門とデータを共有することとしたほか、社員間の情報共有ツールとして活用しております。

また、社内におけるコミュニケーション機会の確保、人材育成のため社員面談（目標設定・評価面談）を実施いたしました。

3. 株式の状況

①株式の数

株 式 発 行 年 月 日	株 式 数	株主数	備 考
H 6 . 3 . 1 0	1 , 4 0 0	7	
H 1 6 . 8 . 3 1	△ 4 0 0		減資
H 1 7 . 3 . 3 1		△ 1	庄原市と総領町の合併による
合 計	1 , 0 0 0	6	

②発行済株式の種類

額面株式 1 株 1 0 万円

③株主の総数

庄原市	6 0 0 株	6 , 0 0 0 万円
ひろしま農業協同組合	1 8 5 株	1 , 8 5 0 万円
広島県酪農業協同組合	8 0 株	8 0 0 万円
庄原商工会議所	4 5 株	4 5 0 万円
備北森林組合	4 5 株	4 5 0 万円
広島みどり信用金庫	4 5 株	4 5 0 万円
合 計	1 , 0 0 0 株	1 0 , 0 0 0 万円

4. 会議の状況

株主総会

R 6. 6. 4	第31回定時株主総会
-----------	------------

取締役会

R 6. 6. 4	・経営状況に関する件 ・第31期営業報告及び決算報告に関する件 ・利益剰余金処分（案）の承認及び株主配当に関する件 ・第32期事業計画（案）及び事業収支計画（案）に関する件 ・取締役選任に関する件
R 6. 9. 6	・経営状況に関する件 ・監査意見 ・「備北コスモスピクニック」に関する件 ・「備北イルミ」花の広場自主事業に関する件
R 6. 11. 27	・経営状況に関する件 ・監査意見 ・国営公園におけるコンセッション導入に関する件 ・備北イルミに関する件
R 7. 2. 25	・経営状況に関する件 ・決算予測に関する件 ・監査意見 ・令和7年度経営基本方針（案）に関する件 ・「備北花ピクニック」に関する件

監査

R 6. 5. 14	決算監査
------------	------

5. 社員の状況(令和7年3月31日現在)

社員数・嘱託員数	57名
経営管理部	2名
営業部	20名
公園管理部	28名
業務部	6名
グランピング事業部	1名
※出向受入れ	1名
※常用パート	6名

6. 営業年度の取締役及び監査役の氏名（令和7年3月31日現在）

代表取締役会長	木	山	耕	三
代表取締役社長	奥	井	智	裕
取締役	矢	吹	有	司
取締役	大	原	直	樹
取締役	藤	原	信	孝
取締役	西	中	晃	
取締役	本	平	正	宏
取締役	八	谷	恭	介
取締役	小	林	明	宗
専務取締役	上	野	和	馬
取締役	児	島	直	子
監査役	青	木	照	和

令和7年6月23日

株式会社グリーンウインズさとやま
代表取締役社長 奥 井 智 裕

決 算 報 告 書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

株式会社 グリーンウインズさとやま

広島県庄原市東本町一丁目 8-17

貸借対照表

株式会社 グリーンウインズさとやま

令和 7年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 171,289,893】	【流 動 負 債】	【 35,380,630】
現 金 及 び 預 金	118,834,133	買 掛 金	2,759,765
売 掛 金	23,753,804	未 払 金	18,155,281
商 品	7,636,032	未 払 法 人 税 等	202,500
食 材	2,320,078	預 り 金	6,540,284
立 替 金	897,024	未 払 消 費 税	7,722,800
仮 払 金	△295,677	【固 定 負 債】	【 4,983,911】
前 払 費 用	2,311,869	退 職 給 与 引 当 金	3,063,911
未 収 入 金	5,204,914	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,920,000
預 け 金	18,020	負 債 合 計	40,364,541
共 同 体 仮 払 金	10,782,696		
貸 倒 引 当 金	△173,000		
【固 定 資 産】	【 67,051,812】	純 資 産 の 部	
(有 形 固 定 資 産)	(31,163,313)	【株 主 資 本】	【 197,977,164】
建 物	3	資 本 金	100,000,000
建 物 附 属 設 備	8,400,451	(利 益 剰 余 金)	(97,977,164)
構 築 物	7,585,533	利 益 準 備 金	2,190,000
機 械 装 置	123,345	そ の 他 利 益 剰 余 金	95,787,164
車 両 運 搬 具	600,682	別 途 積 立 金	100,000,000
備 品	14,453,299	当 期 未 処 分 剰 余 金	△4,212,836
(無 形 固 定 資 産)	(444,839)		
電 話 加 入 権	58,000		
ソ フ ト ウ ェ ア	386,839		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(35,443,660)		
出 資 金	14,493,900		
前 払 保 険 料	14,821,960		
保 険 積 立 金	6,127,800	純 資 産 合 計	197,977,164
資 産 合 計	238,341,705	負 債 ・ 純 資 産 合 計	238,341,705

損益計算書

株式会社 グリーンウインズさとやま

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
物 販 売 上 高	39,128,009	
飲 食 売 上 高	55,115,199	
業 務 売 上 高	11,966,187	
そ の 他 売 上 高	67,397,833	
業 務 受 託 収 益	258,071,961	
駐 車 場 売 上	12,917,989	
レンタサイクル売上	3,116,393	
オートビレッジ売上	16,611,719	
ロードトレイン売上	7,988,481	
出 向 派 遣 売 上	39,761,925	
指 定 管 理 売 上	16,927,495	
フィッシング売上	31,889	
グランピング売上	10,900,243	
雑 売 上	3,000,841	542,936,164
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	9,616,038	
物 販 仕 入 高	28,558,468	
食 材 仕 入 高	21,523,497	
業 務 仕 入 高	5,367,767	
そ の 他 仕 入 高	23,913,518	
オートビレッジ仕入	695,600	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊	89,674,888	
期 末 棚 卸 高	△9,956,110	79,718,778
売上総利益金額		463,217,386
【販売費及び一般管理費】		474,877,249
営業損失金額		△11,659,863
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	66,271	
受 取 配 当 金	30,400	
雑 収 入	1,161,686	1,258,357
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 割 引 料		1,378
経常損失金額		△10,402,884
【特 別 利 益】		
貸倒引当金戻入益	319,000	
賞与引当金戻入益	1,615,119	
役員退職慰労引当金戻入	4,300,000	6,234,119
税引前当期純損失金額		△4,168,765
法人税、住民税及び事業税		202,500
当期純損失金額		△4,371,265

販売費及び一般管理費

株式会社 グリーンウインズさとやま

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科	目	金	額
役員報酬		21,345,215	
給与		150,796,458	
給料		4,349,874	
雑費		36,145,089	
賞与		19,904,877	
退職金		497,290	
法定福利		30,202,561	
厚生		1,308,136	
退職給与		1,131,020	
外注		27,948,389	
旅費		805,570	
交通		1,827,020	
交際		846,288	
減価		7,087,161	
賃借		193,900	
保険		6,583,616	
修繕		1,623,256	
水道		15,065,532	
燃料		2,112,211	
消耗品		5,811,542	
租税		614,168	
荷造運賃		89,817	
事務用品		714,910	
広告宣伝		1,969,074	
支払手数料		5,824,745	
諸会費		550,400	
新聞図書		55,740	
貸倒引当金		173,000	
役員退職慰労引当金		1,900,000	
特退共保		8,734,153	
教育訓練		143,029	
施設管理		1,006,092	
会議		99,644	
車両		2,534,911	
リース		551,250	
支払報酬		201,350	
寄付		23,000	
研究開発		6,255	
地代		7,713,491	
保守		1,108,010	
印刷製本		468,839	
役員退職慰労金		8,028,000	
運営維持業務		94,413,168	
雑費		2,369,198	
合	計		474,877,249

株主資本等変動計算書

株式会社 グリーンウインズとやま

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
			別途積立金	当期末処分剰余金			
当期首残高	100,000,000	2,190,000	100,000,000	158,429	102,348,429	202,348,429	202,348,429
当期変動額							
当期純損失				△4,371,265	△4,371,265	△4,371,265	△4,371,265
当期変動額合計	-	-	-	△4,371,265	△4,371,265	△4,371,265	△4,371,265
当期末残高	100,000,000	2,190,000	100,000,000	△4,212,836	97,977,164	197,977,164	197,977,164

個別注記表

株式会社 グリーンウインズさとやま

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品は最終仕入原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法、ただし、機械及び装置は定率法

無形固定資産 法人税法の規定による定額法

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

減損損失累計額に関する事項

減価償却累計額の金額

減価償却累計額 60,010,767円

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式） 1,000株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式） 1,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額 197,977円16銭

一株当たり当期純利益 44,371円26銭

事業計画 ~~(案)~~

(第 33 期)

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

株式会社グリーンウインズさとやま

令和 7 年度 経営基本方針

1. はじめに

当社は、令和 6 年 1 月「R5-9 国営備北丘陵公園運営維持管理業務」を受託し、2 月より 4 年間にわたる運営管理業務を開始いたしました。

実質的に 1 年目となる令和 6 年度における公園入園者は、公園北入口センターエリアが供用開始された平成 20 年度以後の最小となる約 40 万 4 千人で、コロナ期の令和 2 年、3 年の約 41 万人を下まわる結果となりました。

この要因は初夏から秋にかけての猛暑と冬季の週末ごとの寒波降雪の影響が大きいと考えられます。しかし、近隣類似施設である国営讃岐まんのう公園や世羅地域の観光農園では入園者を増加させている状況もあることから、気候変動への対応と合わせて公園の魅力向上を最優先課題として取り組んでまいります。

併せて、今年度は本公園の開園 30 周年となります。この機会に多様な記念事業を展開することにより、地域とともに歩み続ける国営備北丘陵公園を市民の方々にも積極的にアピールして参ります。

公園運営権の設定を柱とする公園コンセッション事業について、今年 6 月に実施方針案の公表、来年 5 月には第一次審査受付というスケジュールが示されたことを踏まえ、コンソーシアム（共同体）における代表としての応募を前提として、構成員のメンバーや事業内容の具体化に向けた準備を本格化してまいります。

2. 公園運営維持管理業務について

R5-9 国営備北丘陵公園運営維持管理業務の 2 年目です。

1 年目において入園者数目標を達成できなかった要因と課題への対応として、花の管理強化、30 周年記念事業、ひばの里活性化計画の推進を柱として、年間入園者数 45 万人の確保と持続可能な公園運営を目指して取り組んでまいります。

第一は、花の管理についてです。スイセンやコスモスなど季節の主要な花の育成不良が、花のシーズンの入園者減少につながった昨年の状況を繰り返さないため、気象条件を踏まえた育成管理工程の見直しを行い、適切な時期に花を咲かせ、『花の公園』としての魅力を向上させるよう公園管理部をあげて取り組んでまいります。

また、しょうばら花会議と連携して、新たに宿根草の花々によるガーデンを国兼池湖畔に整備するほか、北エリアふらりバラ園の充実を図るなど、花の開花リレーを演出することで他の競合施設との差別化を図ります。

第二に、今年度は本公園の開園 30 周年を迎えるメモリアルイヤーとなります。年間を通じて記念事業を展開することにより入園者の増加につなげてまいります。

特に、秋に開催予定のイベントをその中心的事業と位置づけ、地域や関係団体と連携しながら準備を進めてまいります。

第三は、インバウンド誘致の取り組みです。増加するインバウンドを本市に誘客することをめざす庄原DMOと連携し、「刀剣鍛錬見学体験会」など公園独自の観光コンテンツの磨き上げを行ってまいります。

第四は、コンセッション事業に向けた対応についてです。コンセッション事業の新たなコンセプトづくりの一環として、令和 6 年度に策定

した『ひばの里活性化計画』をベースとして、本公園の特徴的エリアであるひばの里のリノベーションに着手します。

四季を感じる里山ガーデンの整備や新たな体験学習プログラムの開発実施、SNSやデジタルマーケティング活用などにより、本公園の認知度向上に取り組んでまいります。

3. 収益事業について

飲食施設においては、四季の大型催事と連動した季節感のある商品開発に全店共同で取り組むとともにインスタグラムを活用し公園ホームページと連携させて情報発信を行うことにより売上げの拡大を図ってまいります。

また、多客時には既存店舗以上の収益が期待できる臨時売店について、季節、入園者予測を踏まえて展開する店舗や商品メニューの見直しを行ってまいります。

物販施設においては、道の駅など近隣施設と連携したイベントや地域商材の発掘を継続するとともに、開園30周年事業の一環として、過去の人気商品の復刻のほか限定商品の企画、製造、販売などに年間を通じて取り組んでまいります。

備北オートビレッジにおいては、設備、備品の更新など宿泊環境の整備を着実にを行うとともに、新たな宿泊セットや週末イベントの開催などにより集客向上につなげてまいります。

グランピング事業においては、他のグランピング施設と比べてファミリー層の利用が多いという特徴があることから、公園の遊具や体験プログラム、自然などを活かした親子で楽しめる滞在プランを切れ目なく展開することにより稼働率の向上を図ってまいります。

これらに加え、コンセッション後の収益事業を見据えた取り組みとして、従来の枠組にとらわれない広範な業種や地域の事業者との連携により、これまで公園になかった店舗の開設や商品、サービスの提供など新たな事業展開を積極的に試みてまいります。

4. 庄原交流拠点施設の指定管理について

庄原市より、令和3年4月1日より令和8年3月31日までの5年間にわたる交流拠点施設「ゆめさくら」の指定管理を受けて業務を遂行する最終年となります。

交流拠点施設としての充実を図るため、地域団体との共同による展示会の開催や出店者独自の販売イベントを積極的に実施するほか、隣接する「桜花の郷 ラ・フォーレ庄原」、「庄原市上野総合公園」と連携して季節ごとのイベントを開催するなど賑わいの創出に引き続き取り組んでまいります。

また、指定管理契約の更新に合わせて、施設の在り方や運営方法などの見直しが行われることなどを踏まえて、これまでのノウハウや経験を生かし、引き続き指定管理者として業務に参画できるように準備を進めてまいります。

5. 総務関係

人材確保について、令和6年度に目標として掲げた入社3年以内の離職ゼロについては達成することができませんでした。引き続き賃金引上げや時間外縮減など労働環境の改善に取り組み早期の離職ゼロを目指します。

併せて、人材の確保育成について、コンセッション導入後を見据えた取り組みを進めてまいります。

社員採用はこれまで欠員補充を目的とした採用でしたが、長期間の契約となるコンセッション事業では計画的な募集採用が不可欠と考え対応を検討してまいります。

また、社員の配置は現行契約では公園管理業務と収益業務の兼務が困難であるなどの制約がありますが、コンセッション事業では柔軟な対応が可能となります。業務の効率化と人材育成を視野に入れて長期的なビジョンのもとでの人材配置、異動を検討してまいります。

令和6年度に実施した営業店舗へのPC機器の導入、ネットワーク環境の整備ですが、売上、棚卸データ等の集計、スケジュール管理など定例業務の効率化という面では一定の効果がありましたが、収支改善等への活用はできていない状況です。

営業部と連携して、各店舗の日次、週次の営業データを有効に活用する運用方法についての検討を行い、店舗ごとの課題の早期発見、解決につなげてまいります。

令和7年度 事業収支計画

	科目	予算額 (千円)	令和6年度実績	増減	備考
1	【 総 入 圓 者 数 】	438,000	403,000	35,000	前年比108.7%
2	【 売 上 高 計 】	558,756	542,814	15,942	前年比102.9% (運営維持管理、指定管理以外 105.9%)
3	物販売上高	39,840	39,128	712	ランバス 19,480、自動販売機 11,860 ラ・フォーレ他 8,000 他
4	飲食売上高	58,207	55,115	3,092	中の茶屋 32,000、レストハウス 13,575、軽食きゅうくん 12,552 他
5	業務売上高	10,160	11,966	▲ 1,806	業務二課共通工事以外 350、ひばの里 9,810
6	その他売上高	61,418	56,508	4,910	本社4 2,500、自動販売機 3,080、臨時売店 55,632 他
7	運営維持管理売上	256,863	258,072	▲ 1,209	R6は役員退職慰労金負担分3,000千円あり
8	新規事業売上	45,880	40,544	5,336	駐車場 13,900、サイクル 4,300、オートビレッジ 18,900、ロードトレイン 8,730 他
9	出向派遣売上	41,215	39,762	1,453	植栽管理 30,500、施設課 7,700、北エリア 3,015
10	指定管理売上	18,250	16,927	1,323	指定管理 16,250、ゆめさくら自主事業 2,000
11	雑売上	2,650	3,001	▲ 351	
12	自主事業売上	16,000	10,890	5,110	共同運営イベント 4,000、イルミ花広場自主事業 12,000
13	グランピング売上	8,273	10,901	▲ 2,628	
14	【 売 上 原 価 】	81,070	79,719	1,351	
15	【 売 上 総 利 益 】	477,686	463,095	14,591	
16	【 一 般 管 理 費 計 】	476,651	474,462	2,189	
17	役員報酬	15,240	15,240	0	
18	給料手当	70,629	67,234	3,395	前年比 105.0% (増員、賃金改定等)
19	給料旅費	2,046	1,877	169	
20	雑給	25,389	25,815	▲ 426	アルバイト賃金の増 103.00% パート人員の減
21	賞与	11,726	9,602	2,124	R6 : 1.8カ月 R7 : 2.0カ月
22	退職金	30	30	0	
23	法定福利費	15,515	14,769	746	
24	福利厚生費	900	811	89	
25	退職引当金繰入	886	759	127	
26	教育訓練費	140	134	6	
27	外注費	4,618	6,426	▲ 1,808	グランピング派遣受入減等
28	荷造運賃発送費	100	90	10	
29	広告宣伝費	700	673	27	
30	交際費	800	768	32	
31	会議費	100	93	7	
32	旅費交通費	500	479	21	
33	通信費	1,000	998	2	
34	消耗品費	5,234	5,423	▲ 189	
35	事務用品費	300	700	▲ 400	減) パソコン購入費 400
36	修繕費	400	374	26	
37	水道光熱費	9,488	9,987	▲ 499	電気料金の下落分を反映
38	施設管理費	155	154	1	
39	新聞図書費	60	56	4	
40	印刷製本	350	354	▲ 4	
41	諸会費	550	550	0	
42	支払手数料	5,300	5,172	128	
43	燃料費	1,600	1,588	12	
44	車両費	1,260	2,098	▲ 838	減) 保冷車車検 214 電動自転車バッテリー 619
45	リース料	500	430	70	
46	保守料	810	809	1	
47	保険料	6,100	6,173	▲ 73	
48	特退共保険料	4,578	3,915	663	
49	支払報酬	400	200	200	
50	寄付金	23	23	0	
51	研究開発費	0	6	▲ 6	
52	減価償却費	5,871	5,182	689	増) 冷凍庫、食洗器 更新予定
53	地代家賃	7,041	7,041	0	
54	賃借料	48	48	0	
55	租税公課	500	549	▲ 49	
56	貸倒引当金繰入	173	173	0	
57	雑費	2,500	2,213	287	
58	役員退職慰労金	0	8,028	▲ 8,028	
59	役員退職慰労金引当金繰入	1,900	1,900	0	
60	運営維持管理費	240,145	234,248	5,897	コンサルティング経費の増等
61	指定管理	17,046	17,510	▲ 464	
62	自主事業	14,000	13,760	240	
63	【 営 業 利 益 】	1,035	▲ 11,367	12,402	
64	【 営 業 外 損 益 】	807	1,257	▲ 450	雑収入 特定退職者助成金の減
65	【 経 常 利 益 】	1,842	▲ 10,110	11,952	
66	【 特 別 損 益 】	559	5,915	▲ 5,356	貸倒引当金戻入 退職引当金戻入 増
67	【 税 引 前 利 益 】	2,401	▲ 4,195	6,596	